



妙高高原北小学校

所在地 妙高市大字田切 1 2 0 番地
 電話 86-2105 FAX 86-2398
 ホームページ
<http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogenkita-s/otayori/index.html>



1 学校の概要

- (1) 創立 明治 22 年 9 月 1 日
 (2) 教職員 校長 加藤一穂 教頭 大野隆司
 教諭 9 名 養護教諭 1 名
 主任 1 名 教育補助員 1 名 特別支援教育
 支援員 2 名 用務員 1 名
 (3) 学級編制

学 年	学級	男	女	合 計
第 1 学年	1	2	5	7
第 2 学年	1	6	4	10
第 3 学年	1	3	6	9
第 4 学年	1	3	6	9
第 5 学年	1	3	7	10
第 6 学年	1	8	11	19
特別支援	2	7	0	7
合 計	8	32	39	71

2 学校経営の基本構想

「みんなが行きたくなる学校 明日も来たくなる学校」を目指し、児童、保護者、地域、教職員の「合力」を図る。学校課題を①学力向上、②困難に挑戦する心の育成、③外国語活動をとおしたコミュニケーション能力の育成とし、学校に関わる全ての方々の総力を結集した取組を推進する。

3 教育目標

「豊かな心で 自ら学び たくましく」

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
 相手の思いを尊重し、仲間と共に行動する子どもを育てる
 (2) 努力事項
 ○確かな学力と学習意欲の向上
 ・基礎的な知識や技能の確実な習得
 ・自ら進んで学習に取り組む意欲の育成
 ○豊かな心と好ましい人間関係の育成
 ・正しく判断し、主体的に行動する子どもの育成
 ・相手との好ましい人間関係をつくるためのコミュニケーション力の育成
 ○たくましい体の育成と生活習慣の定着
 ・めあてに向かって自ら体を動かす子どもの育成
 ・望ましい生活習慣を身に付けた子どもの育成

5 研修計画

- (1) 研究主題
 思いや考えを聞き合い、仲間と共に活動する子どもの育成 ～「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指した授業改善～

(2) 主題設定の理由

当校では、児童の学力の実態から、「確かな学力と学習意欲の向上」をグランドデザインの中核に据え、研究主題を「思いや考えを聞き合い、仲間と共に活動する子どもの育成」と設定し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指し研修を進めてきた。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する児童の姿を創造し、手立てを講じてきたことで、自信をもって活動したり、考えを交流したりする姿を見られた。また、「聞く力」に焦点を当てて授業改善を行い、相手の話を聞く力、意見を受けて考える力が付いてきた。

一方で、新たな教育である読解力向上、外国語の充実、ICTの活用、プログラミング教育への取組等、喫緊に対応しなくてはならない課題が山積である。

そこで、今年度は、これまでの研究主題を継続し、新しい教育課題に対応しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。授業を通して教師同士の専門性を磨き、児童の学習意欲と向上につなげる。

(3) 研究内容

①授業研究・授業実践

- ・「主体的・対話的で深い学び」を授業改善の視点とし、授業者が考える手立ての有効性を児童の姿で検証する。
- ・各学年、1回ずつ授業公開を行う。（読解力、外国語教育、ICT活用、プログラミング教育のいずれかに関わる内容の授業を基本とする。）

②授業公開の進め方

- ・公開授業は、指導案（A4 1枚程度）を作成する。
- ・授業後、児童の具体的な学びの姿をもとに意見交換の時間をもつ。

6 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、交通安全教室、1年生を迎える会
 5月：避難訓練、青空大運動会
 6月：避難訓練、6年修学旅行
 7月：終業式
 8月：始業式
 9月：避難訓練、青空なかよしウォークラリー
 合同マラソン大会
 10月：青空こどもまつり
 11月：スキー部結団式
 12月：終業式
 1月：始業式、校内書き初め大会、避難訓練
 2月：下学年アルペン教室、信越学童親善スキー大会、
 青空なかよしスノーフェスティバル
 3月：6年生を送る会、終業式、卒業式